

事業計画・収支予算書

公益財団法人浜松市花みどり振興財団
令和 2 年 度

目 次

	頁
1 令和2年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2 令和2年度収支予算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
3 資金調達及び設備投資の見込み・・・・・・・・・・・・・・・・	7

令和2年度 公益財団法人浜松市花みどり振興財団 事業計画

1 運営の基本方針

公益財団法人浜松市花みどり振興財団は、はままつフラワーパークの管理運営を通して、来園者に圧倒的な美しさによる「感動」と「安らぎ」を与えると同時に、「花と緑のまち・浜松」の象徴的施設として、魅力あふれる空間づくりを進めてまいります。

花みどりを通じた園芸文化の普及においては、毎年当園を核として開催している「浜名湖花フェスタ」での目玉展示である1,300本の桜と50万球のチューリップの競演「世界一美しい桜とチューリップの庭園」のさらなる充実はもとより、平成27年度に造成した「虹のフジのトンネル」をはじめとしたフジの庭園が新たな観光名所として着実に地域に根付くよう、魅力的な園芸コンテンツを最大限に活用し「さらに美しく成長しつづける園」の具現化を加速いたします。

また、本年度は5ヶ年に亘る第2期指定管理期間の最終年であり、「フラワーパーク開園50周年」という記念すべき年でもあります。この節目の年をさらに園を飛躍させていく絶好の機会と捉え、市民や来園者にかつてない驚きと笑顔を提供する記念事業を大々的に仕掛けることで、花の聖地としてのトップブランド化を図りつつ、園の魅力を世界に発信してまいります。

著名な人形作家の作品展やわらアート、見立てアート等多彩なイベント企画を通じて公益財団としての使命でもある市民の情操涵養と生きがいがづくりに積極的に貢献し、「浜名湖花博2014」以来の大きな成果を上げられるよう努めてまいります。

一方で経年による施設・設備等の老朽化が進行しているため、不具合箇所の解消に引き続き努めるとともに、新たに導入されたUD対応スロープカー（昇降機）やグレードアップした噴水装置を活用し集客効果と来園者満足度を一層高めてまいります。

併せて、当財団の設立目的である花みどりの普及や情操教育の場の提供として、学生の職場研修や学校出張講座のほか、園内に開設された適応指導教室「くろーばー」での教育振興事業の実施により、園芸福祉の活動拠点としての取り組みも行います。

今後も花とみどりに満ちた快適な市民生活の実現のために、「高度な園芸技術」「施設機能や特性に精通」「観光関係者との信頼関係」などの当財団の持つ強みを活かしつつ、新規の園芸文化普及事業にも積極的に挑戦し、地域の信頼と期待に応え得る円滑な法人運営に努めてまいります。

2 事業内容

【公益目的事業】

「花き類の栽培展示、栽培技術指導及び優良種苗の生産配布による園芸文化の普及と情操教育の推進に関する事業」

- (1) 花き類の栽培技術の指導、花の優良種苗の生産及び配布業務
　　＜当地の自然環境や栽培要件に適合した種苗の生産及び配布＞
 - ア キク及びフリージアの新品種の導入、試作、展示並びに優良品種の選定
 - イ キクのオリジナル品種の育成及び配布
 - ウ 浜松 PC ガーベラ部会より依頼された実生苗の生産・育成

- (2) 園芸文化の普及、情操教育の推進業務
　　＜生活の質の向上や生きがいをづくりとしての生涯学習活動の推進＞
 - ア 市民からの日常的な園芸相談の実施
 - イ 「塚本こなみ園芸教室」はじめ、各種園芸教室の開催
 - ウ 教育関係者及び児童生徒等研修生の職場体験の受入
 - エ 小中学校の総合学習との連携及び学校出張講座等「花育」の推進
 - オ 園内ガイド、園芸作業ボランティアの積極的な受入
 - カ 「車椅子押し隊」など学生ボランティアの参加受入により健全な青少年の育成を行う「心根（こころね）教育」の推進
 - キ 自然体験教室等の開催による教育文化事業の普及と情操教育の涵養推進
 - ク 市教育委員会と連携した「適応指導教室」の運用による児童への教育支援
 - ケ 「健康増進パーク」として市民の健康づくりを实践する事業の実施
　　（トレッキングコース活用によるウォーキング利用者の来園促進）
 - コ 地元大学と連携し、園の新たな利活用についての研究発表や植物に関連した体験教室の随時開催による園芸文化普及事業の拡大

- (3) 花みどりを基軸とした地域経済・産業の活性化関連業務
　　＜市民福祉の増進と浜名湖周辺地域の振興＞
 - ア 障がいのある人や高齢者、社会参画が困難な方々への園芸作業を通じた園芸福祉事業の実施
 - イ 観光圏振興の取り組みとして、民間主導の実行委員会形式による「浜名湖花フェスタ」への参画と館山寺温泉観光協会等関係団体との協力連携
 - ウ 周辺観光関連事業者や地域観光施設と連携した営業セールス・誘客活動の推進
 - エ 「浜松市花と緑の祭」等各種市民緑花ふれあい事業への参画
 - オ **新規**国交省「ガーデンツーリズム計画」登録による当園等周辺観光7施設との庭園観光の中心地形成と滞在型観光地域づくりへの積極的参画

- カ 館山寺温泉観光協会と連携したガイド付き蛍ツアー「蛍の見られる温泉街」等の実施
- キ フラダンスの聖地としてイベントの定期開催をはじめ、花みどりと文化芸術事業の連携と市民交流人口の拡大
- ク 東アジア諸国を中心としたインバウンド事業での誘客促進の強化
- ケ 「浜松市緑化推進センター」指定管理事業における浜松公園緑地協会との一部共同運営を通じた花みどり文化の効果的発信と入園相乗効果の創出
- コ 市消防局や市関係機関等への園の利活用提案による市民協働事業の推進
- サ 「天浜線 花のリレープロジェクト」参画による周辺の観光振興と地域活性化の推進
- シ **新規**開園 50 周年に花を添える多彩な記念事業の企画推進と植物目録の発刊

(4) 花き類の栽培展示業務

<3,000 種の草花の育成管理による自然環境とのふれあいの場の提供>

- ア メインエントランス広場及びクリスタルパレス周辺のコンテナ花壇装飾
- イ 早咲きの桜園（館山寺桜、雛桜、雛八丈桜）の充実
- ウ 花梅園の修景及び早春ボタン展示の充実
- エ 早咲き菜の花と 7 万球のラッパズイセン及び早咲きチューリップの展示
- オ 桜とチューリップ展示（50 万球）の効果的な展示手法の提案
- カ フジ（棚及び庭木仕立て）の適切な管理と「虹のフジのトンネル」の整備充実
- キ 西洋シャクナゲ、ヘメロカリスの植栽展示等、多彩な「花のリレー」の展開
- ク 熱帯スイレンの展示
- ケ ヒガンバナ類の展示
- コ アメジストセージをメインにした秋花壇の充実
- サ 百種接分菊、トーテムポール菊の栽培展示
- シ モザイカルチャー作品の装飾とその維持管理
- ス ウェルカムガーデン、スマイルガーデン等の花壇展示による癒し空間の創出
- セ 熱帯植物（サボテン類、珍しい草花類）及び球根ベゴニアの育成管理
- ソ 国内植物園で初めて開花させたヨルダン国花「ブラックアイリス」の育成管理
- タ ブラジル国花イペの植栽管理等、桜の後も絶え間なく花の見頃が続く園の実現
- チ **新規**新たな庭園空間の創出（ホワイトガーデンの新規造成）
- ツ **新規**ローズガーデンの一部リニューアルによる新たな感動の演出
- テ 特別企画「大物盆栽展」開催による新たな園芸文化の提案（～令和 2 年 6 月）

(5) 観賞、散策及び研修用の施設の運営管理業務

<誰もが安心して利用できる快適な癒しの空間の提供>

- ア 夜間開園の魅力度アップ（夜桜、ウインターイルミネーション等）
- イ 園内移動車両 3 編成（56 人乗り車椅子 2 台収容可/57 人乗り車椅子 2 台収容

- 可/53人乗り車椅子2台収容可)稼働による入園者サービスや利便性の向上
- ウ 作業研修、体験学習の場となる育苗・栽培圃場の肥培管理と施設維持
- エ 大温室クリスタルパレスの管理運営及び温室内ガーデンシアターでの企画展の開催
- オ 「花みどり館」での体験学習機能の強化充実による集客機能の向上
(技術職員による体験教室の拡大や園の特性に合ったプログラムの実施)
- カ 芝の常緑エリア拡大(オーバーシード)と美しい庭園空間の創出
- キ 「フジ&スマイルガーデンライトアップ」開催による新たな集客要素の演出
- ク マスコットキャラクター「ふらまる」を活用した広報活動の推進と新たな顧客層の開拓

(6) 舘山寺総合公園の指定管理業務

＜浜松市における園芸・教育文化の象徴的施設としての効率的な管理運営の推進＞

- ア 花の図書館「はままつフラワーパーク」と隣接する「浜松市動物園」が連携した「舘山寺総合公園」の適正かつ効率的な管理運営
- イ 動物園と連携したイベントの開催と誘客増の取り組み
(ナイトゾーン等における弾力的な連携とイベント相互告知の効果的实施等)
- ウ **新規**新たに導入されたUD昇降機とグレードアップした噴水装置の適切な維持管理(集客効果が高く、経営安定化にも資する施設の適切な保守)

(7) 「浜名湖花フェスタ」の定着化

- ア 「浜名湖花フェスタ」の充実と花みどり文化の一大発信拠点としての園の定着化
- イ 「浜名湖＝花の観光地」の相乗効果演出と当地域への誘客力強化
- ウ 市と連携した「インバウンド事業」による台湾、東南アジア等からの誘客促進及び宣伝力の高い観光プログラムの企画による集客力強化に向けた取り組み

【収益目的事業】

「売店・レストラン・遊具・自動販売機売上等に関する事業」

(1) 園内の売店・レストラン(カフェ含む)・遊具・自動販売機の活用による入園者の利便性の向上及び販売等に関する業務

＜快適な便益施設及び更に魅力的なアメニティゾーンの形成＞

- ア 直営ショップ、レストランでのクレジットカード決済機能の活用による利便性の向上と売上の強化
- イ 斬新な創作メニューの提供及びオリジナル名物メニューの開発・充実
(導入例:クレミアソフト、野菜カレー、地元産しらす入遠州双子丼、牡蠣カバ井等)

- ウ 売上増に貢献する取り組みを強化するため、ショップの一角に来場者の購買意欲を掻き立てる地域特産品（民芸品・食品）を取り揃えた郷土品コーナーを設置
- エ こども広場を中心とした安全で快適なアメニティゾーンの形成

3 業務の合理化など経営健全化への取り組み

<CS（顧客満足）を意識した愛される園づくりの推進>

施設やサービスなど多様な満足度の指標を設定し、部門別に評点化することで、従来の運営方法から一歩進めたCS（顧客満足）を展開するとともに、5S委員会での取り組み等により顧客満足度を的確に把握し、お客様の声を運営に反映させ、入園者の増を図ります。

- (1) アンケートやメール・電話等を通じて市民から寄せられた意見等を集約し、改善すべき事項をマニュアル化することで、改善に結びつけます。
- (2) アンケートで毎月数値化される「顧客満足度」の向上を図ります。
(令和2年度目標満足度値 4.6点 平成26~30年度平均値 4.5点/5点満点)
- (3) 新型コロナウイルス感染拡大を防止し、安心安全な園運営の推進と、今後の状況に応じた営業戦略の柔軟な見直し及び適切な経費節減を図ります。
(状況により、来場者及び職員への影響が懸念される場合は事業内容・計画等を変更する可能性があります。)

1 令和2年度 公益財団法人浜松市花みどり振興財団 収支予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
ア 基本財産運用益	12	12	0
イ 事業収益	459,239	447,628	11,611
入園料収益	216,657	216,657	0
レストラン売上収益	52,172	49,275	2,897
売店売上収益	101,260	101,246	14
駐車場使用料収益	49,350	44,000	5,350
園内移動車両使用料収益	11,600	11,350	250
施設使用料収益	16,250	14,650	1,600
その他使用料収益	7,800	6,300	1,500
受取雑収入	4,150	4,150	0
ウ 受託料	10,000	0	10,000
エ 受取指定管理料	113,303	111,242	2,061
オ 受取利息	15	15	0
経常収益計	582,569	558,897	23,672
(2) 経常費用			
ア 事業費	522,495	506,719	15,776
報酬	5,750	5,750	0
給料	77,953	75,258	2,695
職員手当	33,110	30,696	2,414
法定福利費	16,659	15,893	766
退職給付費用	7,000	5,000	2,000
賃金	102,000	102,000	0
旅費交通費	400	400	0
報償費	11,062	8,938	2,124
燃料費	10,000	10,000	0
光熱水費	22,335	22,335	0
備用品費	15,473	15,550	△ 77
印刷製本費	1,842	1,842	0
通信運搬費	1,130	1,130	0
広告宣伝費	22,030	12,030	10,000

科 目	予算額	前年度予算額	増減
手数料	10,055	9,755	300
交際費	30	30	0
会議費	700	700	0
厚生福利費	171	171	0
負担金	460	460	0
被服費	300	300	0
賃借料	1,775	1,775	0
雑費	30	30	0
委託費	35,535	37,722	△ 2,187
修繕費	8,245	8,515	△ 270
保険料	1,261	1,261	0
原材料費	4,909	4,862	47
肥料農薬費	3,922	3,975	△ 53
種苗費	37,982	40,566	△ 2,584
園内装飾資材費	3,000	3,000	0
売店材料費	65,319	65,310	9
食材費	21,094	19,851	1,243
棚卸減耗費	100	100	0
減価償却費	863	1,514	△ 651
イ 管理費	60,074	52,178	7,896
報酬	5,750	5,750	0
給料	13,893	13,589	304
職員手当	6,656	6,234	422
法定福利費	4,774	4,665	109
備用品費	30	30	0
通信運搬費	120	120	0
手数料	150	150	0
厚生福利費	140	140	0
負担金	400	400	0
委託費	1,800	1,800	0
公課費	300	300	0
消費税	26,061	19,000	7,061
経常費用計	582,569	558,897	23,672
当期経常増減額	0	0	0

科 目	予算額	前年度予算額	増減
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	199,318	214,769	△ 15,451
一般正味財産期末残高	199,318	214,769	△ 15,451
II 指定正味財産増減の部			
1 (1) 受取補助金等			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000	55,000	0
指定正味財産期末残高	55,000	55,000	0
III 正味財産期末残高	254,318	269,769	△ 15,451

※収支予算書は「公益法人会計基準の運用指針」(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)に示された様式に準じて作成している。

収支予算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的会計	収益事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
ア 基本財産運用益	12	0	0	12
イ 事業収益	284,457	174,782	0	459,239
ウ 受託料	10,000	0	0	10,000
エ 受取指定管理料	78,570	0	34,733	113,303
オ 受取利息	15	0	0	15
経常収益計	373,054	174,782	34,733	582,569
(2) 経常費用				
ア 事業費	377,367	145,128	0	522,495
イ 管理費	18,141	7,200	34,733	60,074
経常費用計	395,508	152,328	34,733	582,569
当期経常増減額	△ 22,454	22,454	0	0
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 22,454	22,454	0	0
他会計振替額	6,380	△ 6,380	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 16,074	16,074	0	0
一般正味財産期首残高	71,718	127,600	0	199,318
一般正味財産期末残高	55,644	143,674	0	199,318
II 指定正味財産増減の部				
1 (1) 受取補助金等				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000	0	0	55,000
指定正味財産期末残高	55,000	0	0	55,000
III 正味財産期末残高	110,644	143,674	0	254,318

【資金調達及び設備投資の見込みについて】

令和2年4月1日～令和3年3月31日

■資金調達の見込みについて

当期中における借入の予定はありません。

■設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除去または売却を含む。)の予定はありません。